

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	下部直腸癌におけるDual-energy CTによる短径10mm以下側方リンパ節の転移予測 ～側方郭清適応絞り込みに向けて～		
2. 対象患者	当科で手術前に化学療法を行う可能性があり、導入の判断のために術前にDual-energy CTを施行した後、手術(側方リンパ節郭清を含む)を行った直腸癌の患者さん。		
3. 対象となる期間	2015年9月 ～ 2018年8月		
4. 実施診療科等	消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科		
5. 研究責任者	氏名	佐藤健太郎	所属 消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	Dual-energy CTという検査によって直腸癌側方リンパ節の転移を予測し、側方リンパ節郭清という、術後の機能障害が起こりやすい手技を省略する患者さんを選択できるようになることを目的としています。		
8. 研究の目的	Dual-energy CTが直腸癌リンパ節の転移を予測するための有効な検査であるかを検討し、側方リンパ節郭清という直腸癌特有の術式の適応患者さんを絞り込むことが目的です。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	Dual-energy CTから算出した標準化ヨード濃度というリンパ節の造影剤の取り込みの程度がリンパ節転移と関連するかを統計解析という方法で検討します。Dual-energy CTで確認したリンパ節と手術の際に採取し診断に使用したリンパ節の病理標本を照合し、関連を検討します。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は対象データから削除します。ただし、学会等に発表後の拒否の申し出に対しては、公表後のデータ修正には応じられません。		
11. 利益相反に関する状況	本研究の研究代表者・共同研究者が所属する診療科では、中外製薬(株)、(株)ヤクルト本社、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、小野薬品工業(株)、エーザイ(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。ただし、これらは本研究とは直接関係しない研究に対する資金提供であり、これらによって研究成果が不正に歪められることはありません。なお、本研究の利益相反状態については、弘前大学医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080